

未来へつなぐ 人の絆 地域の絆

平成23年度から27年度までの市のまちづくりの指針となる第1次総社市総合計画の後期基本計画が完成。子育て支援や産業振興、交流、人材育成などに重点を置いた4つのプロジェクトを新たに盛り込みました。



後期基本計画は総合計画の前期基本計画を引き継ぐもので、基本理念はそのままで。財源や時間、人材など限られた経営資源を有効活用すべく、「選択と集中」をテーマに策定。現状の課題や情勢から取り組むべき4つの重点プロジェクトを盛り込みました。

●課題解決に向け
総社市が抱える課題を効果的・効率的に解決するため、また、各分野を横断し重点的に取り組むべき施策として、4つの

る産業活力再生のまちづくりです。今年2月の定例市議会で「総社市地産地消推進条例」が成立し

たことをうけ、農作物の地産地消を戦略的に協議するため、そうじゃ「地・食べ」委員会を設置。学

言葉をキーワードにした重点プロジェクトを掲げました。
キーワードの1つ目は「よさえる」。総社市新生活交通「雪舟くん」の充実や障がい者の自立と社会参画の推進などにより、地域での支えあいと多様な交流を推し進める支えあいのまちづくり。その

一つとして、障がい者の雇用を拡充させる市障がい者千人雇用委員会を5月に立ち上げました。
2つ目は「うるおう」。生産や加工、流通体制の連携強化や総社観光プロジェクトの提案事業による観光振興策の推進により、総社市の特性や強みを生かした産業振興によ

4つの重点プロジェクト

支えあいのまちづくり

地域での支えあいと多様な交流を推進し、豊かな地域社会の創出を図ります。

- 高齢者の健康寿命延伸・孤立化防止対策と社会参加の推進
- 障がい者の自立と社会参画の推進
- 総社市新生活交通の充実
- 外国人が生活しやすい地域環境の整備
- だれもが行きたくなる学校づくりの推進

ささえる

重点プロジェクト1

産業活力再生

総社市の特性や強みを生かした産業の振興を図ります。

- 生産・加工・流通体制の連携・強化
- 総社観光プロジェクトの提案事業による観光振興策の推進
- 優良企業の誘致

うるおう

重点プロジェクト2

はぐくむ

重点プロジェクト3

- 子どもと家族のための地域づくりの推進
- ワーク・ライフ・バランスの推進
- 心の教育・特別支援教育の推進
- 自然や歴史的遺産とのふれあいの場や機会の創出
- 自然や歴史的遺産の保全・継承

子育て王国 そうじゃ

夢をもちながら健やかに成長できる「ふるさと 総社」を伝えはぐくみます。

つちかう

重点プロジェクト4

- 人材育成型の人事考課制度の実施
- 研修体制の充実
- 住民自治組織の育成と組織力強化
- NPO・ボランティア団体の育成と活動支援

人材育成の まちづくり

「私たちが考え、私たちが実行する」職員や民間団体を育成します。

校給食での地元産品の使用量の引き上げに取り組んでいます。
3つ目は「はぐくむ」。子どもと家族のための地域づくりや自然・歴史的遺産の保全や継承することにより、夢をもちながら健やかに成長できる「ふるさと総社」を伝えはぐくむまちづくり。現在進んでいる「子育て王国そうじゃ」を引き続き推進していきます。
最後は「つちかう」。研修体制の充実や住民自治組織の育成と組織力の強化により、「私たちが考え、私たちが実行する」職員や団体を育成する人材育成のまちづくり。これからの地域主権の流れに対応し、基礎自治体としての体力を強化するため、広く人材や団体の育成に努めます。

●絆をより強固に
この4つの重点プロジェクトのテーマは、「未来へつなぐ 人の絆 地域の絆」。
近年、人と人との関係の希薄化や地域コミュニティの機能低下が社会問題となっています。
日本人がこれらの大切さを改めて考えさせられたのが、3月に起きた東日本大震災ではないでしょうか。総社市では「絆」を、より一層強固すること、自立した基礎自治体を目指していきます。
●見直した施策
第1次総社市総合計画後期基本計画は、パブリックコメントや総合計画審議会からの答申、議会との協議を経て、今年3月に完成しました。
計画期間は平成23年度から27年度までの5年間。前期基本計画からの内容を見直した43の施策を登載。施策ごとに、「施策の視点」「現状と課題」「基本方針」「めざすまちの姿とそのための方針」などを示しました。
問い合わせ 企画課企画調整係 (☎028213)

き
ず
な